

ライト新聞 2016年4月号

こんにちは！4月も終わりに近くなり、暖かい日が続くようになりました。
暖かくなってくると、大事なワンちゃん、ネコちゃんの予防の季節です。
うっかり忘れてしまわないように行っていきましょう！



狂犬病について

今年も狂犬病の予防接種の季節がやってきました。

狂犬病は、ウィルスが原因でかかる病気です。「狂犬病」というように「犬」の文字がついているため、犬の病気だと思われる方がいらっしゃいますが、**実は人間にもかかる病気**でもあります。
狂犬病予防ワクチンの接種は、**法律で定められた飼い主様の義務**です。

日本での狂犬病は、1956年の感染を最後に報告されておりませんが、**海外では発症例が毎年報告されています**。船や飛行機で旅行などがしやすくなった分、いつ日本に狂犬病に感染した動物がきてもおかしくない状況です。

（下の図、ピンク色が多発国、赤が発生病、青は発生がない国）

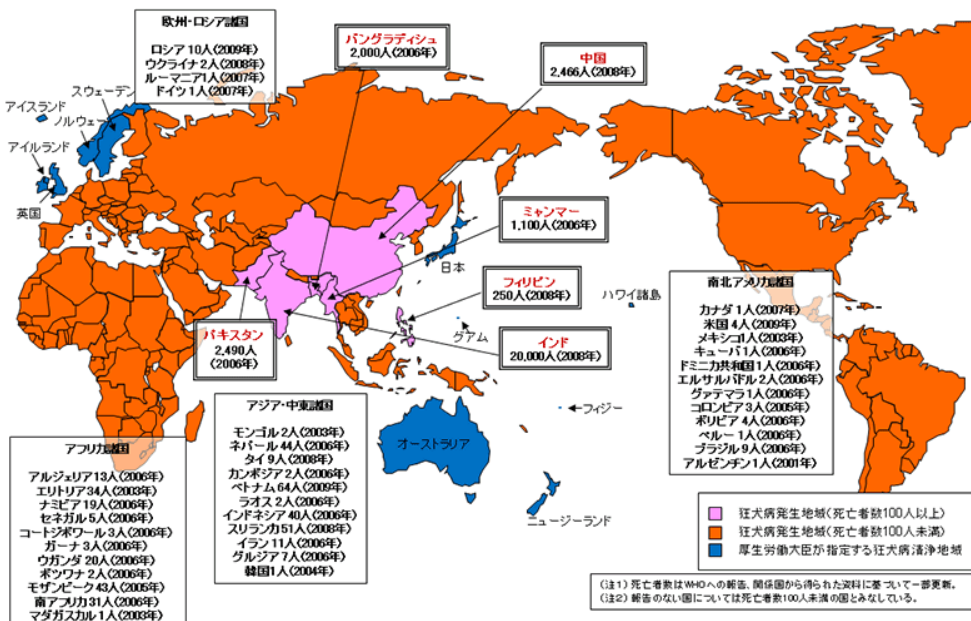
狂犬病の怖いところは、ワクチン接種をせずに感染してしまうと、**ほぼ確実に死に至る事です**。
現在、確立した治療法はありません。

しかし、狂犬病はワクチン接種により予防が出来ます。しっかり予防接種を行いましょう。

当院では狂犬病予防ワクチンの接種を受けることができます。

ワクチン接種をご希望の方は、狂犬病予防案内のハガキをご持参のうえご来院ください。

狂犬病の発生状況



厚生労働省健康局結核感染症課(2013年7月17日更新)



猫ちゃんのフィラリア症について

ワンちゃんでは有名なフィラリア症

「フィラリア症」という言葉自体、猫ちゃんの飼い主様にとっては、あまり馴染みがないかもしれません。

フィラリア症とは、フィラリア（犬糸状虫）という蚊を媒介する寄生虫によって引き起こされる病気です。蚊が動物の血を吸ったときに、フィラリアは血管内に侵入します。数ヶ月経つと30cmくらいの成虫に成長し、肺の血管や心臓に住みつきます。

ワンちゃんの場合、虫の数が少ない時は無症状ですが、数が増えてくると、咳、食欲の低下、運動をしたがらなくなる、息切れを起こしやすくなるなど様々な症状が現れてきます。

放置すると、**呼吸困難を起こして死に至ることもあります。**

このような事から、ワンちゃんでは予防が必須な病気として知られています。



心臓に寄生したフィラリア

一方、猫ちゃんは、フィラリアが体内に侵入しても成虫が増殖しにくいと言われています。しかし、少ない虫の感染でも重症化することがあるそうです。

症状はワンちゃんと同様に、咳をする、動きたがらないなどが現れますが、**急性肺障害や突然死を引き起こした**という報告もあるそうです。

最近は、100%室内飼いをしているにもかかわらず、フィラリア症に感染するというケースが増えてきています。怖い病気ではありますが、ワンちゃんと一緒に予防ができる病気です。

検査方法や予防方法などはお気軽に当院にてご相談ください。



「自分のところは大丈夫」という気持ちは危険です。

油断1回、後悔一生

にならないよう、しっかり予防をして行きましょう！

